【授業科目】人間関係論　　Human　Relations

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
松田 陽子、大西 信行	1年次 前　期	選　択	1	15	講　義	あり	巻末掲載	可

授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／人間関係の意義、社会的相互作用について学ぶ。人間の発達・成長・成熟に関与している人間関係についての基礎的理論を学ぶ。人間を人との関係で生き、成長する存在として捉え、人間理解・対人関係の持ち方、人間関係を創りあげる能力を養う。人間関係を円滑に保つ技法について学び、自己理解と良好な対人関係について理解を深め、看護職になるための土台をつくる。 グループディスカッションや演習などを取り入れながら講義を展開する。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／毎回振り返り表を記入する。質問等に関しては、講義中に全体にﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸを行う。
実務経験に関する 授業内容	児童思春期や一般の精神科病院にて看護実践の実務経験のある専任教員が、コミュニケーション技法、対人関係の発展、心理面のケア、リハビリテーションの経験を活かし、授業を行う。
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け看護を主体的に学び、人間として自己の成長に努め、専門職としてのキャリアの基礎を形成することができる。」の達成に寄与している。
到達目標 (履修者が到達 すべき目標)	①　今までとは違うものの見方、考え方を理解できる。 ②　人間に対して、ステレオタイプな見方からの脱却ができる。 ③　人間は他者を通じて自分を知ることができることを理解し、成長する私、新しい自分の発見、関係を創る力を習得することができる。
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	人間関係論で学んだことを日常生活の中で、意識し考えることをしてみる。 読書の時間を習慣としてもつこと。講義中に紹介する文献だけでなく、様々な文献を読み、他者の考えや生き方を知ることで、自分自身を見てみる機会をもつ。(各 30 分) ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／１回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画	第１回　人間存在、人間を理解する 人間関係とは何か。いつから人間関係があったのか。私という存在はどのようにして生まれるのか。自分の存在と他者の存在の相互交流から生まれる関係について学ぶ。	①大西
	第２回　心のあらわれ、心のなりたち 心のあらわれとしての自我とはどのようなものか。自我のとらえ方と機能について学ぶ。	②大西
	第3～4回　日常生活の人とのやりとりの中での自分の人間関係を自己の立ち居・ふるまいを通して学ぶ。	③④松田・大西
	第5～6回　自分と向き合う・他者を理解する コラージュ作成（好きな切り抜きとのり・ハサミを準備）、 中心となる自分と新たな自分、多様性について理解する	⑤⑥松田
	第７回　ストレス社会の中で生きる 自分が感じているストレスとの付き合い方を考える	⑦松田
	第８回　暮らしの中の人間関係・まとめ 他者との社会関係が心の成長・発達にどのような影響をもたらすかについて学ぶ。人の発達の過程を社会関係と家族関係の中で概観する。	⑧松田

評価方法 評価基準	レポート　60%、グループワーク・演習 40%		
教科書	なし	参考書等	『わかりやすい交流分析』１チーム医療
学生への メッセージ	原則、講義・演習へ参加するようにして下さい。人間関係は空気のようなもので、改めて考えると不思議な気持ちになると思います。私たちは生まれ落ちると同時に、人間関係という文脈の中に放り込まれます。自己と他者のダイナミックな関係が、人間の発達・成長・成熟に関与しており、こうした人間関係の理論を実際の生活体験から実感的に理解して新しい自己形成に役立てて下さい。		